

経営比較分析表（平成30年度決算）

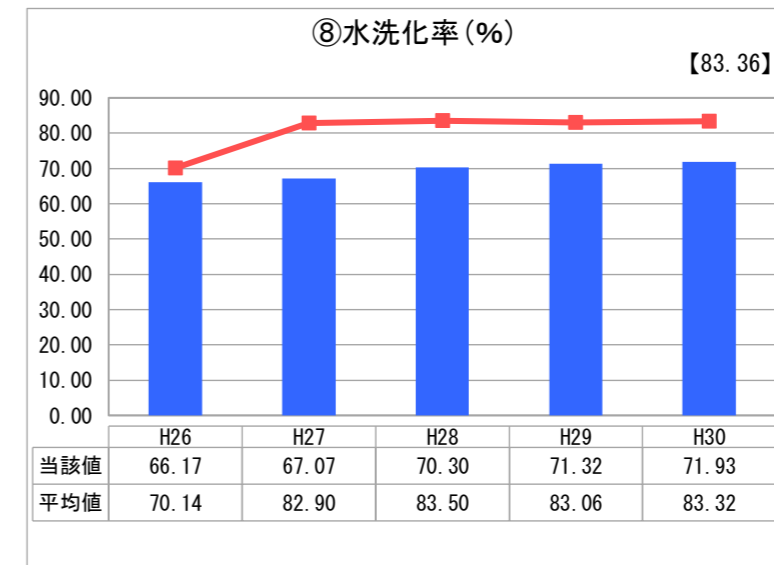
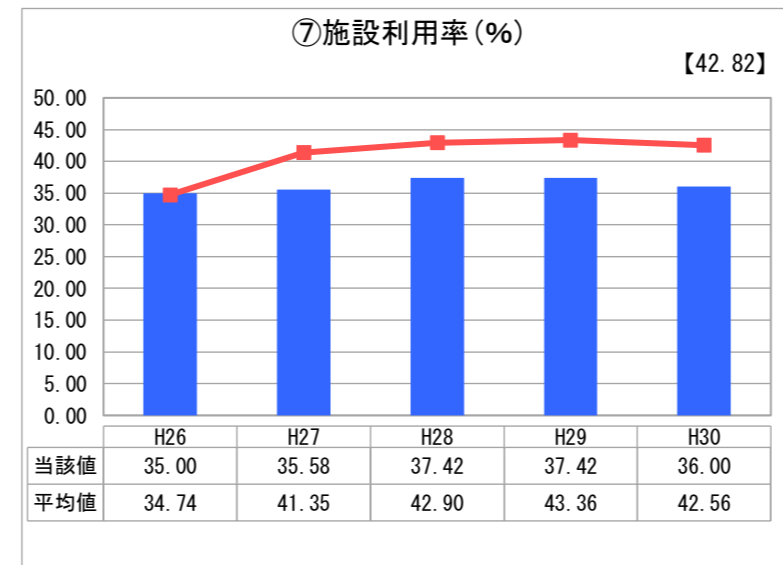
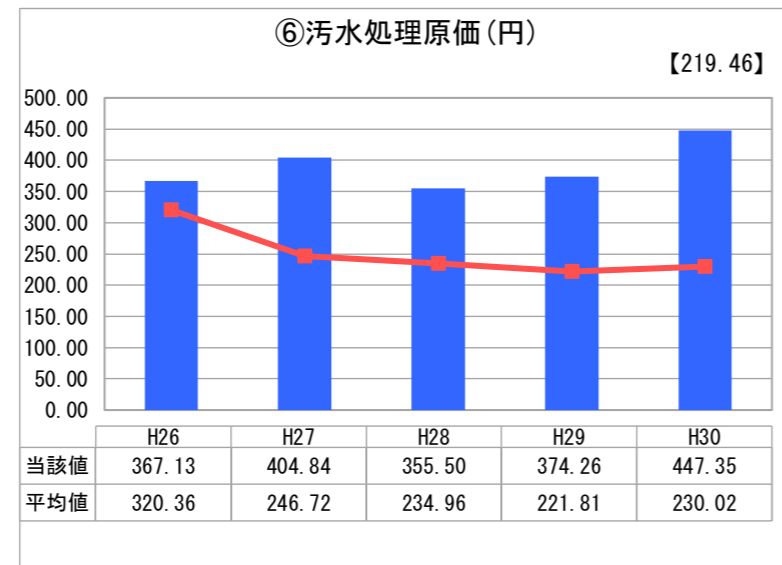
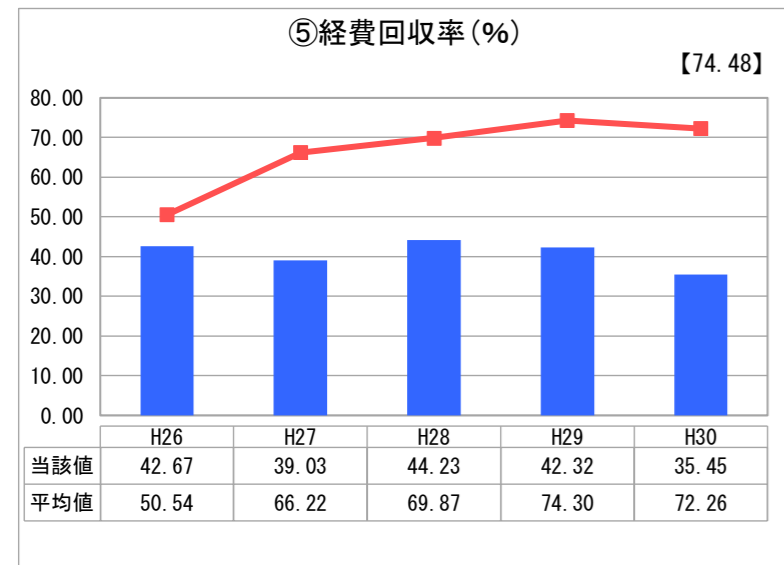
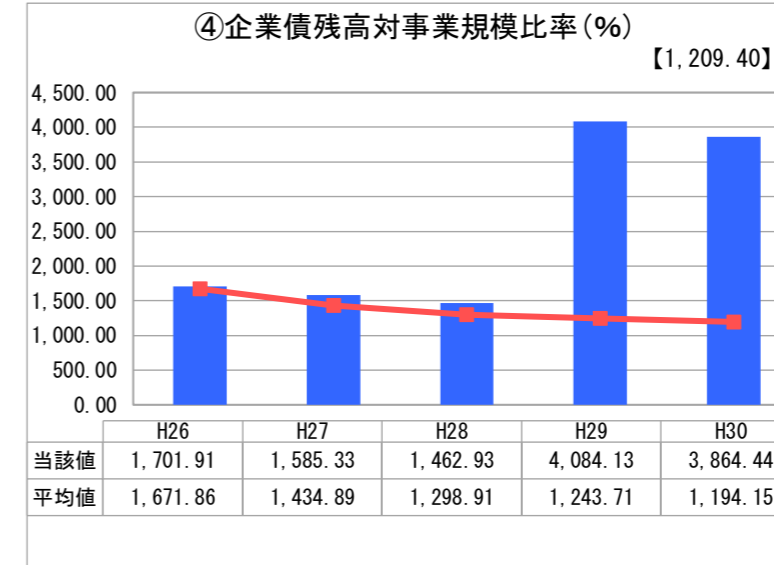
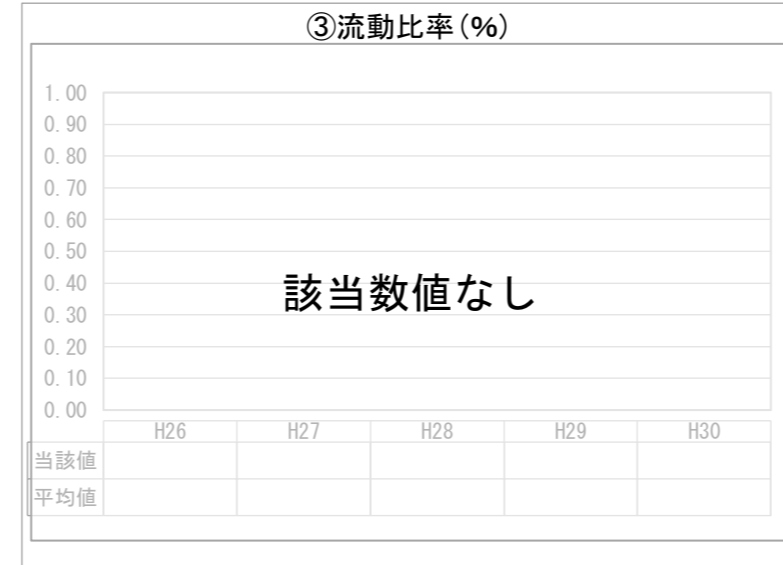
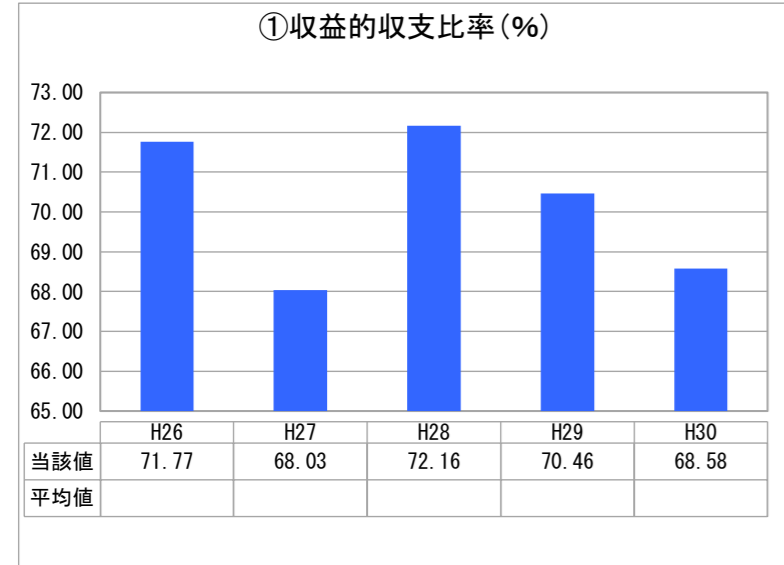
岩手県 九戸村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	43.92	98.66	2,692

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,802	134.02	43.29
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,533	0.88	2,878.41

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率について
収益的収支比率は68.58%となっており、健全経営とは言えない状況である。収支赤字分を一般会計繰入金に依存しているのが現状であり、収支改善に努める必要がある。

④企業債残高対事業規模比率について
収支赤字分は一般会計から補填してもらっているが、地方債の償還に要する資金の一部又は全部を一般会計において負担することを定めていないため、類似団体と比べると、高い数値となっている。

⑤経費回収率について
類似団体より低い数値となっているため、適正な料金設定及び汚水処理費の削減に努める必要がある。

⑥汚水処理原価について
類似団体より高い数値となっており、維持管理費用の削減や接続率の向上による有収水量の増加に一層努める必要がある。

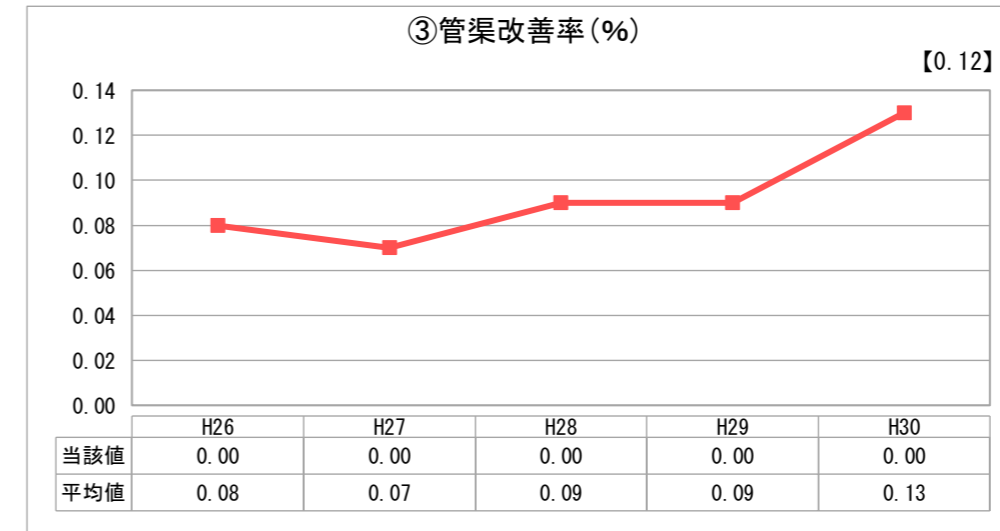
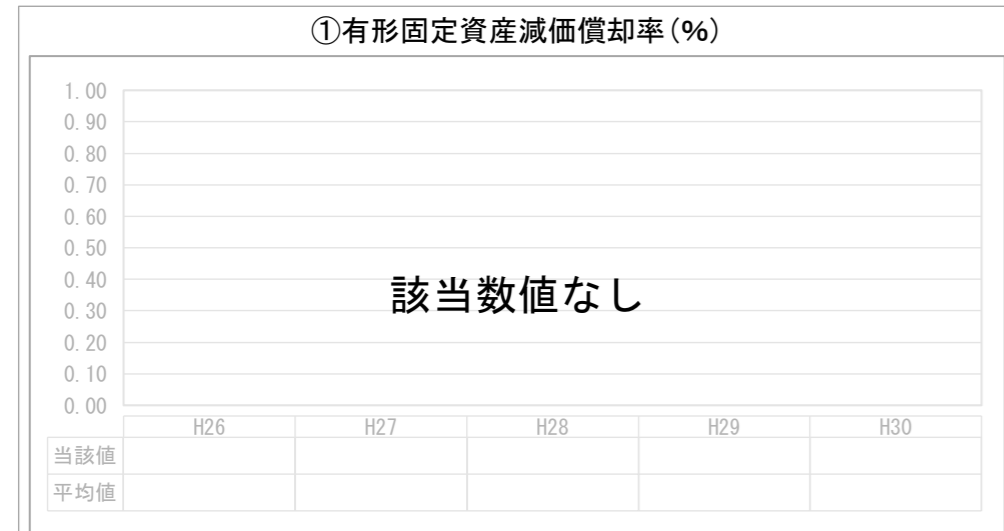
⑦施設利用率について
接続人口の影響で低い数値となっているため、接続率の向上に努める必要がある。

⑧水洗化率について
類似団体と比較してやや低い数値となっているが、上昇傾向にあるため、継続して水洗化率の向上に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

平成12年度から供用開始しているが、法定耐用年数を超えた管路はまだ無いため、今後の状況に応じて検討していく。

2. 老朽化の状況



全体総括

類似団体と比べて、経費回収率、施設利用率及び水洗化率が低く、汚水処理原価が高い状況にあるが、その主な要因として水洗化率が低いことがあげられる。現在も広報等を活用したり道の駅で下水道ブースを開設するなど普及啓発を行っているが、他の手段も検討しつつ水洗化率の向上に更に努めていく必要がある。

また、ストックマネジメント支援制度を利用し、下水道施設全体の中長期的な状態を予測しながら維持管理や改築更新を行い、改築更新費の削減に努める必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。